

秋山登山は十分な準備・計画と登山届で 遭難事故を起こさないよう万全な備えを！

大雪山系・十勝岳連峰・暑寒別岳など道北地方の山は、本州中部地方の3,000m級の山に匹敵する厳しさがあります。

この秋、気温は平年並みか高く経過する見込みですが、山の気温は冬へと確実に向かっており、平地では雨でも山頂付近は雪となり、積雪状態になることも珍しくありません。風雨やふぶきによる体温の低下や体力の消耗を考慮し十分な準備・計画をしてください。

秋は日の入りが早まり、暗くなる時刻も早くなるので、きのこ採りや釣りなどで山に入る方も、道に迷わないよう十分注意してください。

また、冬ごもり前で活動が活発化するヒグマから身を守る対策も忘れないでください。

《山に入る際の留意事項》

- 単独登山は避け、経験あるリーダーのもと、各自の体力と経験に応じた無理のない、ゆとりを持った計画にしましょう。避難コースや予備日も考慮に入れましょう。
- 大雪山国立公園では登山道の区間毎の難易度等を5段階に区分した「大雪山グレード」を設定しています。山行計画の際に確認し、力量にあった登山を行いましょう。また、最新の登山情報を提供していますので、確認してください。

大雪山グレード ▼検索



大雪山 登山情報 ▼検索



- 装備・持物・服装を整え、十分な食料を用意しましょう。**特に防寒の準備は万全に！**
- 緊急時に備えて、携帯電話や無線機などを携行しましょう。予備のバッテリーも忘れずに。また、予めスマートフォンの位置情報（GPS）機能等の利用方法を確認するとともに、万が一遭難して救助を求めるときは、すぐに110番通報しましょう。
- 登山届を必ず最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう。北海道警察本部地域企画課にFax（011-251-3535）で送付することも可能です。「北海道警察 安全登山情報」のページからオンラインで提出することも出来ます。

北海道警察 安全登山情報 ▼検索



- 道北地方の山では、9月下旬には初冠雪が観測され、山頂付近は雪で覆われます。出発前には最新の気象状況や天気予報を確認し、無理な行動はしないよう心がけてください。最新の気象状況は旭川地方気象台のホームページ等で確認出来ます。

旭川地方気象台 ▼検索



- 大雪山系や十勝岳連峰では、火山活動により有毒なガスが噴出しているところがあるので、立入禁止の場所には入らないよう気をつけましょう。また、事前に気象庁の「火山登山者向けの情報提供ページ」で火山活動に関する情報を入手しましょう。

気象庁 火山 ▼検索



- 大雪山系や十勝岳連峰は国立公園内です。自然を保護するため、ゴミは持ち帰り、トイレのない場所では携帯トイレを使用し、動物や高山植物等を傷つけないよう注意しましょう。特にヒグマを人慣れさせないためにも食料は絶対捨てないようにしましょう。また、指定場所以外での火気使用は控えてください。

本件の問い合わせ先 : 上川総合振興局 地域創生部 地域政策課 (防災担当) Tel (0166) 46-5918
留萌振興局 地域創生部 地域政策課 (防災担当) Tel (0164) 42-8426
環境省 大雪山国立公園管理事務所 Tel (01658) 2-2574
旭川地方気象台 防災管理官 Tel (0166) 32-7102